

消費増税のなかで公務員だけ「賃上げ8.5%」
袴田事件だけじゃない「未解決重大事件」捜査の大失態

SAPIO

サピオ

5

2014

小学館

韓国 の嘘がバレる日

日本人が知っておくべき

大反響! 『嘘つき韓国の正体』連動大特集



●あなたの常識が次々くつがえる

ダイエットを科学する

●ベストシーズン到来!

絶景の春温泉を巡る

「親米ポチ」の政府&報道では見えない
ウクライナとプーチンとオバマの関係

「内なる敵」は朝日新聞だけではなかった すでに43地方議会が「慰安婦意見書」採択 裏で「嘘の歴史」を撒く日本のロビー団体を追う

県議会が意見書を採択した島根県を「御礼」に訪れた元慰安婦・李容洙さん（中央）。写真は07年に行なわれたワシントンでの抗議デモ

時事通信社



すでによく知られているように、慰安婦問題の「嘘」を最初に広めたのは日本人である。元日本兵士の嘘の証言を朝日新聞が書き立てて韓国世論に火が付き、反日ロビー団体がそれを世界に広めて今日の状況が生まれた。「内なる敵」はその後も次々と現われている。日本の地方議会でも静かに広がる「慰安婦意見書」の採択の裏には、日本人による「反日活動」の悲しい実態がある。

昨年7月9日、米グレンデル市議会が慰安婦像設置を決めた際、推進派のフランク・クインテロ市議員は設置の意義を説いた上で演説をこう締めくくった。

「私が興味深く見ているのはおよそ36もの日本の地方議会が『意見書』を採択していたことである。一部を紹介する

ジャーナリスト
恩田勝巨
ONDA Katsumichi

なく、法的拘束力もない。しかし多くの国民は存在すら知らないこの意見書が、冒頭のグレンデルのように「日本人自身が謝罪と賠償をすべき」と認めている証拠」として都合よく利用されてしまっているのだ。

保守王国・島根での採択は竹島問題にも悪影響

なぜこのような意見書が全国に広がるのか。各地の採択プロセスを検証したところ、複数の市民団体が議会に意見書採択を求める請願運動をしていたことがわかった。そのうちのひとつが「新日本婦人の会」だ。同会の笠井貴美代中央本部会長は共産党の笠井亮衆院議員の妻。井上美代元会長が共産党参院議員に転じた

例もあり、共産党と密接な関係にあることは間違いない。東京都文京区に中央本部を構える同会は全国に都道府県本部、支部を持つ。最高決議機関である全国大会の決定には「慰安婦」問題解決へ（中略）地方議会でも意見書採択など草の根の行動で世論を広げましょう（13年11月採択）とあり、中央本部の方針のもとに各地で他団体と連携して請願に動いていると考えられる。

別掲の43議会のリストを見ると自治体の規模は沖縄県多良間村のような人口1200人強の村から大都市まで多岐にわたるが、地域的には北海道、京都など革新系勢力の強いエリアに偏っている。これは市民団体が、慰安婦問題への政府の対応に批判的な議員が多いところを戦略的に狙っている結果だろう。都道府県議会としての採択第1号となった京都府議会は典型的で、民主、公明、共産が意見書に賛成。自民は反対したが過半数に届かないため採択された（昨年3月）。

「慰安婦意見書」を採択した地方議会

08年	3月／宝塚市議会（兵庫）、6月／清瀬市議会（東京）、11月／札幌市議会（北海道）
09年	3月／福岡市議会、6月／箕面市議会（大阪）、三鷹市議会（東京）、小金井市議会（東京）、京田辺市議会（京都）、9月／生駒市議会（奈良）、泉南市議会（大阪）、10月／国分寺市議会（東京）、12月／長岡京市議会（京都）、船橋市議会（千葉）、国立市議会（東京）、田川市議会（福岡）
10年	3月／ふじみ野市議会（埼玉）、我孫子市議会（千葉）、今堀仁村議会（沖縄）、吹田市議会（大阪）、与那原町議会（沖縄）、堺市議会（大阪）、6月／小樽市議会（北海道）、西東京市議会（東京）、南城市議会（沖縄）、豊見城市議会（沖縄）、八重瀬町議会（沖縄）、読谷村議会（沖縄）、多良間村議会（沖縄）、一関市議会（岩手）、高槻市議会（大阪）、9月／士別市議会（北海道）、北栄町議会（鳥取）、八幡市議会（京都）、函館市議会（北海道）、10月／木津川市議会（京都）、大阪府議会
11年	9月／宮代町議会（埼玉）
12年	6月／宇治市議会（京都）、9月／広陵町議会（奈良）
13年	3月／京都府議会、6月／島根県議会、城陽市議会（京都）、宮津市議会（京都）

※衆参両院、各地方議会などへの取材をもとに作成。

決され、五百川純寿議長の「起立多数」の声であつたりと可決。委員会から本会議までわずか1週間の早業だった。

自民党県議で唯一、座ったまま反対した小沢秀多県議はこう憤る。

「結局、自民党の県議は古い体質の人間ばかりで、地元のことばかりで、地元の意見書採択による国際的な影響まで考えられないのです。慰安婦問題についての見識も持ち合わせていません」

元自民党で現在は無所属の成相安信県議（意見書採択では退席）も「県議会自民党は竹下利権を継いだ青木幹雄（元参院議員）の影響下にあり、その番頭格が五百川議長。票集めには敏感でも意見書が持つ意味は考えたこともないのでしょう」と批判する。五百川氏は再三の取材要請にも応じず、白石氏からは「委員会での提案理由がすべて」とと電話で説明があった。

それにしても島根県自民党の意識の低さには驚きを禁じ得ない。自民党島根県連は「県議会での採択は報道で知った」（事務局）程度で、意見書に関する県全体の司令塔はない。当時の県連幹事長だった

た福田正明県議は、「あの頃は参院選の渦中にあり、地元紙で委員会決議を知って提案文書を出先にファックスしてという、文言修正を指示した」というが、本会議での採択は五百川議長ペースで進んだ。

「意見書は松江市議会にも出されましたが、自民党系多数で否決しました。国の問題として捉えれば当たり前。五百川系市議に県議たちは何を考えていたのかを質すと、『人権問題だから』と言っていました（宅野賢治・松江市議）」

そもそも新日本婦人の会の請願（意見書の原案）には「嘘」が含まれている。請願には「河野談話」によって「慰安婦」への政府の関与と強制連行を認めて」とある。河野談話は日韓の政治的妥協の産物であり、本人の意志に反して集められた慰安婦の存在は認められたものの、軍が組織的に強制したかは極めて曖昧な表現になっている。「強制連行」という単語も談話の中には出てこない。いかなる調査でも日本軍が組織的に女性を強制連行した事実は明らかになっていないのだから当然である。だが、請願では曖昧な表現を逆手に取って「強制連行」の

竹島領有の証拠捏造、慰安婦問題の嘘、オリジナル主張の欺瞞!!

自称・経済大国の貧困ぶりから言論封殺の実態まで、隣国を理解し、付き合い方を考察する渾身の1冊!

「SAPIO」が1993年から追及してきた「韓国の嘘・虚飾」
20年間の集大成

ジャーナリスト、研究者など幅広い執筆陣により多角的に検証。一次資料にあたり、現場取材を重ねた**厳選リポート**

金泳三時代から現在まで、丹念な歴史考証に基づき日韓問題の全貌を解明した必読の書!!

櫻井よしこ氏 推薦!

いま、私たちの責務は「韓国の嘘」にきちんと反論することです。本書はそのためのデータと論理がすべてわかる1冊です。



豪華執筆陣 (登場順)

井沢元彦 (作家)
勝岡寛次 (明星大学戦後教育史研究センター)
水間政憲 (ジャーナリスト・近現代史研究家)
高濱賛 (在米ジャーナリスト)
黒田勝弘 (産経新聞客員論説委員)
山谷剛史 (在中国ジャーナリスト)
張赫 (フリーライター) / 室谷克実 (ジャーナリスト)
三橋貴明 (経済評論家) / 吳善花 (評論家)
金完燮 (ノンフィクション作家)

ポスト・サピオムック

日本人が知っておくべき

嘘つき韓国の正体

シリーズ2冊も絶賛発売中!!



SAPIO編集部・編

絶賛発売中!! 定価: 本体1,200円 + 税 ISBN978-4-09-103163-1

小学館 小学館愛読者サービスセンター TEL.03-5281-3555
http://www.shogakukan.co.jp

存在を否定している。総務委員会前で出・成相県議らが反対の意向を示す中で強制連行の文書は削除されたが、前提が崩れた「意見」は本来なら引くためべきではないのか。島根県以外でも新日本婦人の会が請願にかかわったとする意見書には「女子挺身隊」の美名のもとに連れてこられた「軍人倶楽部」と称した「慰安所」で強制的に日本軍の相手させられた若い女性たちの人権侵害は想像を絶する(読谷村、10年6月採択)といった、別物である「挺身隊」と「慰安婦」を混同する表記や「河野洋平内閣官房長官がお詫びと反省の気持ちを述べ、(中略)今後とも真剣に検討すべきもの」という談話を発表しているが、その後何ら進展していない(一関市、同月採択)といった「アジア女性基金」による償い金やお詫びの手紙の存在を無視した記述がある。

新日本婦人の会島根県本部は「各地で採択しているのので島根でも取り組んだ」(山崎会長)と答え、組織的な全国活動を展開する同会中央本部に見解を問うたところ、「SAP採択直後にできたグリーンデー

「竹島の日」の記念式典では意見書採択を非難する野次が飛び事象となった。

「竹島の日」の記念式典 竹島・北方領土返還要求運動県民大会
島根県・島根県議会・竹島・北方領土返還要求運動県民大会
共同通信社

採択に反対する県民有志は、『島根県議会の歴史認識をたずね実行委員会』(代表・石原倫理氏)を組織し、議長以下の全議員に見解を質してきたが、今も回答はないという。

採択に反対する県民有志は、『島根県議会の歴史認識をたずね実行委員会』(代表・石原倫理氏)を組織し、議長以下の全議員に見解を質してきたが、今も回答はないという。

ル市の慰安婦像の隣の碑には「戦時中、日本軍が強制連行して性奴隷にした」20万人が慰安婦にされた」という歴史的事実とはまったく異なる嘘が記された。碑の建造の正当化に利用された意見書には「強制連行」とも「20万人」とも書かれていないが、嘘は増幅されて世界に広まる。

また、国連総会での採択に基づき設置された「女性差別撤廃委員会」の09年会合では日本の市民団体が地方議会の

慰安婦意見書採択を紹介するリポートを提出。結果、同委員会の最終見解(09年8月7日公表)では慰安婦への補償が勧告された。すると今度は新日本婦人の会などが意見書採択を地方議会に求める際に国際的な批判が高まっていること、証人利用するといふ自作自演の「嘘のループ」が続いている。島根県で採択された意見書には「女性差別撤廃委員会、ILO専門家委員会などの国連機関から、繰返し「慰安婦」問題の解決を促す勧告を受けてきている」とある。

この動きを海外の反日勢力も利用している。たとえば島根県では意見書採択後、さかさ韓国の元慰安婦から県議会関係者への「御礼訪日」の申し入れがあった。韓国で慰安婦や徴用工関連の裁判を手掛ける崔鳳泰弁護士と元慰安婦・李容洙女史ら総勢7人の「大邱地方弁護士会平和使節団」が昨年8月に島根を訪れ、韓国にパイプのある地元企業経営者の仲介で五百川議長や白石議員への御礼の面会を申し入れていた。五百川氏や白石氏はなぜか面会を断わった。

が、やはり意見書採択は信念のない場当たり的な判断で、余波の大きさに戸惑っていたのだろうか。慰安婦問題に詳しい現代史家・秦郁彦氏はこう指摘する。

「来日した李さんは07年の米下院決議に先立って下院で泣き叫びながら演説した人物ですが、最初にメディアに登場した頃は民間業者の甘言に乗せられて慰安婦になったと言っていたのに、いつの間にか日本兵に無理矢理連れて行かれた話に変わるなど、証言に疑問が呈されています」

そうした元慰安婦たちに島根県議会は感謝されてしまった。元慰安婦らの訪日は、島根県議会の意見書採択のニュースとともに朝鮮日報など韓国メディアが大きく報じた。こうして「20万人を強制連行して性奴隷にした」という虚偽の歴史は広まっていく。このままでは今後も日本人の採択した意見書が韓国ロビーに利用されて木魂のように世界へ拡散してしまうだろう。政府も国民も地方議員も事実を学び、「慰安婦の嘘を日本人が広める」という愚をこれ以上繰り返してはならない。